

Career Interview

総合通信基盤局電気通信事業部
電気通信技術システム課安全・信頼性対策室長

廣瀬 照隆

HIROSE TERUTAKA

平成 2年 4月 郵政省採用
電気通信局総務課
平成 5年 4月 メキシコ留学
平成 6年 3月 電気通信局電気通信事業部データ通信課
平成 7年 10月 電気通信局電気通信事業部業務課
平成 9年 7月 内閣法制局
平成 12年 7月 電気通信局総務課法規係長
平成 14年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課
事業振興係長
平成 16年 7月 郵政行政局総務課総合企画室財務・人事制度係長
平成 17年 8月 情報通信政策局放送政策課課長補佐
平成 20年 7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課課長補佐
平成 21年 7月 情報通信国際戦略局参事官補佐
(通信・放送総合戦略担当)
平成 22年 7月 情報流通行政局放送政策課課長補佐
平成 23年 9月 総合通信基盤局電気通信事業部
料金サービス課課長補佐
平成 26年 7月 在ブラジル日本国大使館一等書記官
平成 29年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課課長補佐
平成 30年 8月 現職

ICTの発展とともに
絶えず自分も
アップデート

【今、そしてこれから】

経験を生かしていくということ

現在は、総合通信基盤局電気通信事業部安全・信頼性対策室長として、人々が何時如何なる時も安全・安心に通信によるコミュニケーションを図れることを目指して、信頼性対策、災害対策等に取り組んでいます。デジタルトランスフォーメーション（ICTの社会への浸透による変革）が進む中で、今後も自らの知見・視野を絶えずアップデートして、この分野に携わっていきたくと思っています。

【係長時代】

通信市場の変革期の中での視野の拡大

携帯電話やインターネットが一般に普及しはじめ、現在の通信環境の基礎が形作られ始めた係長時代、通信の公正な競争を促進することを通じて、通信による利便が広く確保されるよう、電気通信事業法に基づく執行事務に携わっていました。社会経済における通信の役割が飛躍的に拡大する中で行政を行っていくには、それを裏打ちする通信技術を理解し、過去にこだわらない視野の拡大が不可欠であると認識しました。

【係員時代】

基礎的な知識と業務のいろはの学び

電話といえば黒電話、インターネットも存在しておらず、通信市場において音声を中心とした競争が行われていた係員時代、ICT分野の法令の審査に携わっていました。上司に恵まれ、ICT分野に関する法令の構造といった基礎的な知識を吸収するとともに、部内での業務の進め方を学ぶことができました。係員時代に得ることができた知見や経験は、その後仕事を行っていく上で極めて重要な土台となっています。

Message

ICT分野は急速な技術の進展によりその活動領域を拡大してきましたが、これからIoT・ビッグデータ・AI時代を迎えてこれまで以上の更なる拡大が見込まれます。こうした中で行政を行っていくには、常に自らをアップデートする必要があります。一緒にチャレンジしていきたいと考える後輩をお待ちしています。